



RIKKYO UNIVERSITY
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE
2024.11.1



こんにちは。ボランティアコーディネーターの押山です。

ボランティアセンターでは、10月も様々なプログラムを開催しました。

学生コーディネーターによるボラカフェ「ボランティアはじめませんか？」や「2nd STEP！参加の先にある“ボランティア団体の作り方”～実際に設立した学生が教える『コツ』～」、学生・教職員・地域の方などにもご参加いただいた「立教チームでつなぐ被災地支援プロジェクト(令和6年能登半島地震)」第2弾の参加学生による活動報告会。

授業協力としては、RSL科目「大学生の学び・社会で学ぶこと」で「立教大学における正課外教育」についてお話しする機会をいただきました。

授業では、ボラセンの取り組みについて説明し、「ボラセンの場所を知っていますか？」「ボラセンを利用したことがありますか？」と尋ねたのですが、残念ながら知っている学生は数名でした。しかし、翌日共有いただいた履修者のリアクションペーパーには、「ボランティアの意味を改めて理解することができた」との声が多く、まずは、一番伝えたかったことが伝わったのだと安堵しました。

リアクションペーパーに「ボランティアをしてみたい」という声も多く見られました。ボランティア活動に興味を持ちながらも、その一歩を踏みだせない学生がまだまだ多いことは日頃から感じていますが、今月以降も学生コーディネーターによるボラカフェや、ボランティア初心者向けの企画があります。ぜひ、お気軽にご参加いただけたらと思います。

(新座キャンパス ボランティアコーディネーター/押山)

各コンテンツの詳細は、ボランティアセンター公式【note】からご覧ください！

https://note.com/rikkyo_volunteer/n/n86a6f5bd18f6

**** 今月の CONTENTS ****

■ボラセンからのお知らせ

【1】*ボランティア募集中*週末ワークキャンプ「伝統的な日本酒づくりを支える」を初開催！

【2】*募集スタート！(先着順)*立教チームで活動する1day ボランティア「子ども服マーケット in Sunshine City～Autumn&Winter～」の運営に参画しませんか？

【3】貸出開始図書を紹介！

【4】(再掲)＊補助枠 残り10名分＊「ボランティアコーディネーションカ3級検定」の受験料を一部補助しています！

■ボラセン活動レポート

【1】学生ボランティアの私たちにしかできないことって？ | 立教チームでつなぐ被災地支援プロジェクト【第2弾・後編】

【2】『一貫連携教育・立教学院 清里環境ボランティアキャンプ』18回目の開催！

【3】第3期学生コーディネーター 任命式が行われました！

■陸前高田サテライト事務局からのお知らせ

岩手県陸前高田市立高田第一中学校との交流プログラムを実施

■□■ 巻末コラム ■□■

先日、ボランティアによるサポートを受けました。

登山口で道に迷っていたところ、近くの売店の方が顔を出して順路を教えてくださいました。頂上までの時間や天気まで教えてくれ、「気を付けてね」と送り出してくださいました。

方向音痴なのに何故か自分の選んだ道を疑わない私。危うく頓珍漢な方向に進むところだったため、本当に助かりました。山道を歩きながら「あれも立派なボランティアだよなあ」と感謝しつつ、「でもボランティア活動と言われるとハードルが高く感じるのは何故だろう？」と考えていました。その続きをこの場を借りて考えてみます。

思うに、多様なボランティア活動があることや、実際にどのような活動をするのかが広まっていないことが、一步を踏み出しにくくしている部分もあるのではないのでしょうか。「ボランティア」という言葉がどこか独り歩きし有名になっていて、人々はニュースや新聞で知り得たボランティアへのイメージをそこに重ねているように感じます。

例えばメディアで取り上げられるボランティアは、長期間だったり海外だったり、災害現場だったり、なんだかとても堅くて敷居の高い活動に思えることも多いです。

他にも、「ボランティア」と画像検索してみると、清掃ボランティアや環境に関するボランティアが多く、イメージの固定化が起きてしまっている可能性もあります。

私も当初はボランティアに対してハードルの高さを感じていたものの、実際に活動を経験したことで、今ではそれが自分のなかでかなり低くなりました。自分も誰かの力になれること、それは想像よりも難しくないこと、そしてなにより実際に経験してみるものの可能性を強く感じたのです。

そんな私は今、「立教チームで活動する1dayボランティア」の「子ども服マーケットin Sunshine City」についてのボラカフェを企画しており、12月には同イベントの運営にも携

わかります！ボランティア活動へのハードルを少しでも下げることが目標です。立教生とボランティア活動の現場を繋げられるように、これからも学生コーディネーターとして頑張ります。

ここまで読んでいただき、本当にありがとうございました！！今回のコラムは3期生の真下(マシモ)が担当させていただきました。

季節の変わり目ですからみなさん体調に気を付けてくださいね！

真下 綾乃
(第3期 学生コーディネーター／現代文化学科 2年)

立教大学ボランティアセンター

池袋キャンパス(5号館1階)・新座キャンパス(7号館2階)

開室時間: 月～金 9:00～17:00

▼ボラセン Web ページ

http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html

▼メールアドレス

volunteer@rikkyo.ac.jp

▼X(@rikkyo_volucen)

http://twitter.com/rikkyo_volucen/

▼Instagram

https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja

▼note

https://note.com/rikkyo_volunteer/

▼YouTube

https://www.youtube.com/channel/UCo5eBf_CcveSsRAccG5rrzw

配信停止を希望の場合は以下の Google Form を送信してください

<https://forms.gle/PRuubMtYvuHVfKoG8>

(C)2019 RVC all rights reserved.
